



試作したポット

平成27年3月4日（水）  
あいち産業科学技術総合センター  
常滑窯業技術センター 材料開発室  
担当 山田、竹内  
電話 0569-35-5151  
愛知県産業労働部産業科学技術課  
管理・調整グループ  
担当 加藤、水野  
内線 3389、3388  
ダイヤルイン 052-954-6347

## 常滑焼の伝統技法を現代的にアレンジしました

### － 幅広い年齢層にアピールする食器類を開発 －

あいち産業科学技術総合センター常滑窯業技術センターでは、常滑焼伝統技法「のた絵\*1」を現代的にアレンジし、幅広い年齢層にアピールする食器類を開発しました。常滑焼ならではの伝統技法をより効果的に演出することにより、他産地の製品との差別化を目指しました。

今日的な環境に配慮した居住空間やライフスタイルともよく調和し、伝統工芸士\*2のような伝統技法に熟達している生産者でなくても生産できるよう、シンプルかつカジュアルな柄を採用しました。

当センターにおいて平成27年3月10日（火）に開催する平成26年度研究成果発表会で、本開発の詳細について報告するとともに、試作した食器を展示します。

#### 1 背景

常滑焼には「彫り\*1」、「のた絵\*1」、「<sup>りゅうまき</sup>龍巻\*1」など、他産地には見られない独自の伝統技法があり、こうした技法を用いた器は常滑焼の中でも高級品として位置づけられています。伝統的な柄（技法）で彩られた器は、高級感と荘厳な雰囲気を併せ持ちますが、高度な技術が要求され、手間が掛かるなどの理由から、生産者にとっては気軽に取り入れることができないという問題がありました。

また、生産者からは、従来の技法や表現を用いた製品作りの枠を超えた製品を開発したい、との声も聞かれます。

そこで、常滑窯業技術センターでは、伝統技法に熟達していない生産者でも常滑焼ならではの技法を用いながら、従来の製品にはない新たな魅力を持った製品作りが可能となるよう、常滑焼ならではの伝統技法を現代的にアレンジし、企業の新製品開発を支援しています。

本年度は、伝統技法の一つ「のた絵」に着目した開発を行いました。

## 2 開発内容

一般的な陶磁器では釉薬が用いられます。そのため、産地が違って同じような表情になってしまいます。一方、せつ器<sup>\*3</sup>土で作られる常滑焼の急須では釉薬をしません。特に「のた絵」は、釉薬を使わないという環境の中で、常滑産地を代表する技法となり、独特の風合いを醸し出しています。

開発にあたっては、その風合いをより引き立たせるよう常滑地区で製造される2種類のきめの細かいせつ器土（いこみしめつち 鑄込締土<sup>\*3</sup>、きそしめつち 基礎締土<sup>\*3</sup>）をブレンドしました。絵付け（のた絵）にはこの土に顔料を加え色彩を整えたものを用います。

デザインは、伝統技法とは対照的にシンプルでカジュアルな柄（写真1）、絵付け技法は、高度な筆使いを用いないスポンジによる絵付け（写真2）としました。

この結果、低コストでライフスタイルにマッチする製品開発ができ、これまで常滑焼製品を購入しなかった消費者にもアピールできる製品となりました。



写真1 試作した皿



写真2 スポンジによる絵付け

## 3 波及効果

開発した食器の絵付けは伝統的な技法に比べて容易なので、「のた絵」の導入に慎重であったメーカーにも取り組みやすく、常滑焼ならではの製品を作ることが可能となります。また、伝統的な製品を作ってきたメーカーにとっても、製品のバリエーションが増え、生産量の増加に結びつきます。

今回の開発をきっかけに、それぞれのメーカーにおいて新製品開発が促進され、産地全体の活性化につながることを期待されます。

## 4 今後の予定

常滑窯業技術センターが開催する下記の成果発表会において、本開発成果の発表を行うとともに、試作した食器を展示します。

＜平成26年度研究成果発表会＞※平成27年2月4日記者発表済み

- ・日時：平成27年3月10日(火) 午後2時から午後4時40分まで
- ・場所：あいち産業科学技術総合センター 常滑窯業技術センター 講堂  
(住所：常滑市大曾町4-50、電話：0569-35-5151)
- ・参加費：無料

- ・ 申込方法：参加申込書により FAX、電子メールまたは電話でお申込みください。  
 申込書は、あいち産業科学技術総合センターのホームページ  
 (<http://www.aichi-inst.jp/>) からダウンロードできます。  
 ※参加受付証は発行しません。お申込みの上、直接会場にお越しください。

## 5 問い合わせ先

あいち産業科学技術総合センター常滑窯業技術センター  
 材料開発室 山田、竹内  
 電話：0569-35-5151 FAX：0569-34-8196

### 【用語解説】

#### \*1 「彫り」、「のた絵」、「龍巻<sup>りゅうまき</sup>」

常滑焼には様々な伝統技法があります。器の表面に絵柄や文字を彫りこんだ「彫り」、粘土に顔料を混ぜて水で溶いた絵具を用いて絵を描く「のた絵」、龍などを粘土でレリーフ状に薄く作ったものを器に貼り付ける「龍巻」などは、常滑焼を代表する伝統技法です。

#### \*2 伝統工芸士

伝統工芸士とは、伝統的工芸品産地において伝統的技術・技法に熟練した従事者の中から、伝統的工芸品産業振興協会が行う認定試験に合格した者に対して与えられる称号です。高度な技術と知識を持つと同時に、伝統的工芸品の普及や伝統的技術・技法の継承のため、産地で活躍しています。

#### \*3 せつ器<sup>いこみしめつち</sup>、鑄込締土<sup>きそしめつち</sup>、基礎締土

せつ器は陶器と磁器の中間的な性質を持つやきものです（表）。鑄込締土、基礎締土は、急須に使われる朱泥と同様せつ器土に分類されます。鑄込締土は薄茶色、基礎締土は象牙色の焼き上がりになります。

表 陶器、磁器、せつ器の特徴

	陶器	磁器	せつ器
透光性	なし	あり	なし
吸水性	あり	なし	なし

一般家庭で使われているやきものの大半は磁器に分類されます。「せつ器」に分類されるものは、常滑焼の他、日本では備前焼の一部、世界的には中国の宜興<sup>ぎこう</sup>、イギリスのウェッジウッド等があります。

※備前焼…岡山県備前市周辺で生産される陶器、せつ器のやきもの。

※宜興…中国江蘇省の市。明の時代から凝った茶器を手作りで生産してきた。

※ウェッジウッド…主に高級食器を生産する世界最大級の陶磁器メーカー。